

平成28年度 事業報告

平成28年度は、地域福祉推進の中核的機関として「互いに支え合い、安心して生活できる福祉のまち・篠栗づくり」を推進し、期待され、信頼される社会福祉協議会を目指し、次の5項目を重点目標に掲げて事業を展開してまいりました。①安心して生活できる地域福祉の構築 ②栗の子保育園の運営 ③介護保険事業等の運営の健全化 ④収益事業の充実強化 ⑤運営基盤の強化の5項目です。

・地域福祉構築の柱である「ふれあい・いきいきサロン」は、高齢者の見守り、とじこもり防止、介護予防を目的に、福祉協力員を中心として、区長、民生委員・児童委員、ボランティアの方々の献身的な活動により、年間延べ183回、5,816人の参加があり、その成果は目をみはるものがありました。介護保険制度の改正に伴う地域支援事業の1つとして取り組んだ、「まちなかカフェ」(庄区／西浦ホッとカフェ、オアシス篠栗／おひさまカフェ)は、ボランティアの方々の協力により2月から運営を始める事が出来ました。

・子育て支援事業の「子育てサロン」ですが、今年度も、地域の協力により庄区・田中区・乙犬区・和田区の公民館で開催され親同士の交流や情報交換など成果を上げることができました。また、昨年度から運営を始めた栗の子保育園は、町や関係者のご協力により、大きな混乱もなく、園児や保護者に不安や動揺を与えることなく運営することが出来ました。

・障がい者支援事業の「障がい者サロン」につきましても、すまいるサロン、ふれあいサタデーに加え、すまいるサロンコンサートを実施し障がい者（児）の余暇活動の場、家族の介護負担の軽減や介護者同士の交流の場として成果を上げることができました。

・ボランティア活動は、センターの登録者が433人となり、様々なニーズに対応でき、活動の輪が着実に広がりをみせています。活動支援の一環となるボランティア養成講座については、夏休み福祉体験教室、地域デビュー講座、認知症サポーター養成講座等、多岐に亘る講座を取り入れ、地域を支えるボランティア活動の担い手育成に努めました。

・運営基盤の柱となる会員制度と赤い羽根共同募金ですが、厳しい社会状況の中、各行政区の役員をはじめ関係の方々の精力的推進と町民の皆様の温かいご理解、ご協力により自主財源の確保を図ることができました。

・介護保険事業については、今年度から、生活支援体制整備事業協議体を行政と連携しながら取り組み、新しい介護予防・日常生活支援総合事業の推進に努めました。

・収益事業の充実といたしまして、衣裳貸出事業については、広報活動として新聞への折込チラシやホームページでPRを致しました。

仏舍利殿管理運営事業については、利用者が安心して利用できるよう整備・維持管理に努めました。

葬祭事業については、葬祭(登録)業者との連携を密にし、利用者ニーズに沿った効率的運営に努め、収益の一部を一般会計へ繰り入れることが出来ました。

平成28年度の主な事業について次のとおり報告いたします。

【主な事業の報告】

1 地域福祉の充実

(1) ふれあい・いきいきサロン

- 延べ開催数 183回 延べ参加者 5,816人
- 福祉協力員数(21行政区) 223人

(2) ボランティア活動

- 団体登録 10団体
- 個人登録 87人 433人
- 延べ活動数 555回 延べ活動人数 1,921人
- ボランティア養成講座
 - 夏休み福祉体験教室 受講者29人 講座5回
 - 地域デビュー講座 受講者35人 講座5回
 - 認知症サポーター養成講座 受講者296人 講座6回
 - 託児ボランティア養成講座 受講者18人 講座3回
 - 顔ヨガ講座 受講者47人 講座2回
 - コミュニケーション麻雀講座 受講者33人 講座2回

○ まちなかカフェ事業

- にしうらホッとカフェ 開所火～木 延参加者 189人
- おひさまカフェ 開所 火～金 延参加者 535人

(3) 児童・少年福祉

- 福祉教育読本の配付 小学校3校 390冊
- 福祉教材の助成 私立認可保育園 3園
- 子ども育成会へ助成
- たのしい子育て講座

- 抱っこ法講習会 受講者15人 講座2回
- ベビーマッサージ体験教室 受講者28組 講座2回
- 心を伝える育脳講座 受講者12人 講座1回
- 幼児安全法講習会 受講者10人 講座1回
- 父親ステップアップ講座 受講者5組 講座1回
- 小物作り講座(髪飾り) 受講者8人 講座1回

○ 子育てサロン

- ぐりっさママ 参加者(延べ) 113組 開催5回
- 庄区サロン 参加者(延べ) 122組 開催21回
- 乙犬区サロン 参加者(延べ) 420組 開催28回
- 和田区サロン 参加者(延べ) 254組 開催21回
- 田中区サロン 参加者(延べ) 144組 開催15回

○ ぐりっこだよりの発行 年12回

(4) 高齢者福祉

- しるばあ大学 受講者64人 14日間
- 老人クラブへの助成(老人クラブ活動・空き缶リサイクル作戦)
- マッサージ・鍼灸への助成 110人
- 独居高齢者乳酸飲料配付 389人
- 高齢者の集い 参加人数 昼の部 443人
夜の部 335人
- 福祉餅つき大会 参加者 190人
- ずっと安心スマイルライフ事業
相談 4件 契約1件

(5) 障害者福祉

- 移送サービス 137件
- 紙おむつ配付 3人
- 身体障害者手帳1級所持者歳末助成 102人
- 療育手帳所持者歳末助成 80人
- 精神障害者保健福祉手帳所持者歳末助成 54人
- 心身障害児・者親の会(栗の実会)へ助成
- 身体障害者福祉協会へ助成
- すまいるサロン 参加者(延べ) 123組 開催12回
- ふれあいサテライト 参加者(延べ) 17組 開催 3回

(6) 低所得者への福祉援助

- 生活福祉資金貸付
 - 福祉資金 5件 緊急小口資金 13件
 - 教育支援資金 7件 総合支援資金 0件

(7) 一般福祉サービス

- 心配ごと相談(毎月2回弁護士・司法書士・相談員)
- 福祉バスの運行
- 初盆供養供え物配付 83件
- 福祉用具の貸出
 - 車イスの貸出 84件 137台
 - ポータブルトイレ・介護用品等の貸出 25件
- チャイルドシートの貸出 19件
- 日常生活自立支援事業3件(H29.3.31現在契約中)

(8) 広報活動

- 広報紙「社協だより」の発行 年12回
- ホームページの拡充

2 運営基盤の強化

(1) 自主財源の確保

- 会員制度の推進 6,645件
- 共同募金運動の推進

(2) 組織運営の充実

- 理事会・評議員会の充実

3 介護保険事業・障害者自立支援事業の運営の健全化

(1) 障害者自立支援事業

- 障害者自立支援事業に係わるホームヘルプサービス(身体障害者、知的障害者、精神障害者)
 - 利用者 月平均4人
- 産後支援・家事援助に係わるホームヘルプサービス
 - 利用者 月平均2人

(2) 介護保険事業(訪問介護)

- 広報・宣伝活動の強化(ホームページ)
- ホームヘルパーの研修による資質向上
- 利用者ニーズに沿ったサービス提供
 - 利用者 月平均23人
- 生活支援体制整備事業協議体

4 収益事業の充実強化

(1) 衣裳貸出事業

- 着付け教室の開催 受講者 11人 講座 12回
- 男性着付け教室の開催 受講者 7人 講座 2回
- 宣伝活動の強化(ホームページ・リーフレットの作成)

(2) 仏舎利殿管理運営事業

- 春・秋の法要 参拝者 春130人 秋124人

(3) 葬祭事業

- 葬儀件数 葬祭場葬儀 192件 自宅葬儀 0件

栗の子保育園

一人ひとりを大切にしながら、子ども自らが周りの環境（自然・人・物）にかかわり、生活経験を豊かにすることを重視し、しなやかでたくましい心と体をもった子どもの育成を目指し保育を実施しました。

1 園児数

0歳	16人	1歳	24人	2歳	27人
3歳	29人	4歳	34人	5歳	35人

合計 165人

2 年間行事 ※新規行事

- 4月 入園式 進級式 内科検診 身体測定
- 5月 尿検査
- 6月 親子遠足 家族の日 お年寄り・ボランティアとの交流（園庭菜園） 歯科検診 ぎょう虫卵検査 身体測定
- 7月 夏祭り プール遊び
- 8月 自然体験学習川遊び（ひまわり組のみ） 身体測定 プール遊び
- 10月 運動会 園外保育 社会体験学習 JR乗車体験（ひまわり組のみ） 内科検診 身体測定
※消防署と合同避難訓練
- 11月 ささりんピック（ひまわり組参加） 保育参観 お

年寄り・ボランティアとの交流（園庭菜園収穫）

給食試食会 ※ふれサタ農園芋掘り

- 12月 生活発表会 クリスマス会 個人懇談 給食試食会 身体測定 ※七五三写真撮影会

- 1月 幼年消防クラブ出初式（ひまわり組参加） 歯科検診 尿検査 個人懇談

- 2月 節分 お年寄り・ボランティアとの交流（園庭菜園） 身体測定

- 3月 ひな祭り お別れ会 卒園式 終了式

☆ 毎月 お楽しみ会 避難訓練

3 特別保育

・障がい児保育 13人（要支援児含む）

・延長保育（保育時間18時～19時）
月平均388人 延べ4,657人

・一時保育（通常の開設日 9時～17時）
月平均53人 延べ636人